

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	柳井市立柳東小学校 第4学年 30名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( 学級活動 )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・車いすバスケットボール選手との交流を通して、個人の特性に応じてスポーツに親しみながら豊かな人生を送っていることを知り、障害者スポーツへの理解を深めるとともに、運動に対する意欲を高める。</p>
5 取組内容	<p>・事前学習 事前にオリンピックの歴史やマスコットに込められた思いなどを学習し、オリンピックへの理解を深めた。</p> <p>・障害者スポーツ教室 車いすバスケットボール選手の河本公成さんを招き、4年生を対象に障害者スポーツ教室を行った。競技用の車いすと日常生活で使用する車いすのちがいをみつけたり、アーチェリーで使用する弓を触ったりして、障害者スポーツで扱う用具に慣れ親しんだ。また、児童が実際にボッチャとフライングディスクを体験し障害者スポーツの楽しさや難しさを体感した。</p> <p>・事後学習 パラリンピック競技の中から興味をもった種目を選択し、本やインターネットを活用して新聞にまとめた。また、学級活動の時間を活用してボッチャ大会を開き、障害者スポーツに慣れ親しんだ。</p>
	 

<p>6 主な成果</p>	<p>障害者スポーツ教室を通して、特性に合わせてルールを変更することで、誰でもスポーツを楽しむことができるということを学ぶことができた。</p> <div style="text-align: center;"> <p>4年生事前アンケート</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>4年生事後アンケート</p> </div> <p>アンケート結果の通り、児童の2020年の東京オリンピック・パラリンピックへの興味が増進していることがわかる。「パラリンピックのトライアスロンを見たい」、「鈴の音だけを頼りにサッカーをするなんてすごい」といった発言を児童から聞くことができた。児童がオリンピックだけでなくパラリンピックにも関心をもてたことは大きな成果である。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>児童が初めて名前を聞く競技や、やったことのないスポーツに親しみをもてるように、実際に体験する時間を多く設定した。説明を聞くだけでなく、自分自身が体験することで、競技の面白さや工夫されている点に気づくことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回の取り組みに参加した4年生は、障害者スポーツへの理解を深め、パラリンピックへの興味を抱くことができたが、全校児童には浸透していない。そのため、今後は全校児童が様々な運動に興味をもって取り組むことができるように、学校全体で授業づくりや環境整備に努める必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>児童は今回の事業を通して、普段の学校生活では体験できないスポーツに親しむことができた。自分たちが休み時間や体育の授業で行っている運動とはちがいがあながらも、体感できる楽しさは変わらないということに気づくことができる貴重な体験となった。機会があれば今後も同様な事業に積極的に取り組んでいきたい。</p>